

仕 様 書

1 機器の名称及び数量

品 名	数量
適温配膳車等一式	40膳タイプ：1台 48膳タイプ：1台 ノンフラットトレイ：200枚

2 機器の基本仕様

1-1	本体概要は、下記の要件を満たすこと。（メンテナンス性を考慮し、次の機能が標準またはオプションで装備されること）
1-1-1-1	40膳の外形寸法は、L1650mm×W780mm×H1900mm 以下であること。
1-1-1-2	48膳の外形寸法は、L2250 mm×W780 mm×H1750 mm以下であること。
1-1-2	機器の異常に対するエラーコードを表示する機能を有すること。
1-1-3-1	適温配膳車 40膳の本体重量は 385kg 未満であること。
1-1-3-2	適温配膳車 48膳の本体重量は 440kg 未満であること。
1-1-4	扉の取手の構造は、最上部から最下部までどの位置でも開閉が可能構造であること（開閉操作の困難な中央部1ヶ所は不可）。
1-1-5	本体扉上部は、マグネット式コンセント及び温度調整操作パネルを装備していること。
1-1-6-1	40膳タイプの保温・保冷の配置は、温・冷・冷・温の配列になっていること。
1-1-6-2	48膳タイプの保温・保冷の配置は、冷・温・温・冷・冷・温の配列になっていること。
1-1-6-3	ドレンタンクは樹脂製で商品名が刻印されていること。
1-1-6-4	脱着式のドレンタンクを庫外に1個装備していること。
1-1-7-1-1	40膳タイプの食数は、40食が収納できること。
1-1-7-1-2	48膳タイプの食数は、48食が収納できること

1-1-7-2	庫内下コーナー部（4 隅）は、曲面加工を施していること。
1-1-7-3	棚段ピッチは、125mm を確保しており、広すぎないこと。
1-1-7-4	トレーは、冷食と温食がワントレーでありパススルー方式であること。
1-1-7-5	トレーが左右逆転して挿入できるリバーシブル機能を有していること。
1-1-7-6	庫内水洗ができること。
1-1-7-7	自在輪は静音キャスターでホイールカバーが着いていること。
1-7-7	前後の両方のハンドルからスムーズに操作可能となること。
1-1-8	本体後方にはカメラが備わっており、走行操作パネル側の液晶モニターで後方の確認ができること。また、液晶モニターの下限が1300mm～1400mmまでの間に埋め込み設置されていること。
1-1-9	天井電源（病院既設）から付属の電源コードを使用する際、コードの取りまわしが簡便となるように、リール式バランス等で天井固定できること。
1-1-10	マグネット式病棟プレート等により病棟名の表示がしやすいこと。
1-2	電気設備は、下記の要件を満たすこと。
1-2-1	入力電源は、3 相 200V であること。
1-2-2-1	40 膳タイプは、最大消費電力は、3.2kw 未満であること。
1-2-2-2	48 膳タイプは、最大消費電力は、5.0kw 未満であること。
1-2-3	漏電ブレーカーを装備していること。
1-3	温度調整操作は、下記の要件を満たすこと。
1-3-1	温度機能に異常が発生した場合、エラーコードの表示機能を有していること。
1-3-2	温度表示は、設定温度と庫内実温が全室同時に表示できること。
1-3-3	温度設定は、冷室 5℃～10℃、温室は 60℃～80℃が可能であること。
1-3-4	温度設定の温度範囲外（11℃～59℃）は、安全衛生上設定できない機能を有していること。
1-4	保冷室は、下記の要件を満たすこと。
1-4-1	保冷方式は、温度ムラが少ない冷風強制循環方式であること。
1-4-2	冷風吹出し口は、各段に装備していること。
1-4-3	運転温度範囲は、5℃～10℃であること。
1-4-4	保温室 70℃の設定温度に 20 分程度で到達すること。
1-4-5	冷室庫内に清掃窓が装備されていること。
1-5	保温室は、下記の要件を満たすこと。
1-5-1	保温方式は、温度ムラが少ない遠赤外線微風循環方式であること。
1-5-2	温風吹出し口は、各段に装備されていること。
1-5-3	運転温度範囲は、60℃～80℃であること。
1-5-4	保冷室 5℃の設定温度に 30 分程度で到達すること。
1-5-5	異常加熱防止機能を有すること。
1-6	保護装置は、下記の要件を満たすこと。
1-6-1	走行操作パネルは、キー操作による電源 ON・OFF 切替機能を有していること。
1-6-2	充電器は、過充電防止装置を有していること。
1-6-3	走行操作中にハンドルを離してから約 1 秒で自動停止ブレーキ機能が作動すること。

1-6-4	走行中緊急時用の非常停止機能を専用ボタンで装備していること。
1-6-5	バンパー部にはタッチセンサー式の安全機構を装備していること。
1-6-6	マグネットコンセントを装着時は、本体が移動しないこと。

1-7	走行方法は、下記の要件を満たすこと。
1-7-1	走行は、自走式の運転機能を有し、手動でも走行が行える機能を有していること。
1-7-2	走行は、電動 2 輪独立駆動及びパワーアシスト方式（電動補助動力）であること。
1-7-3	走行時は、前進・後退のスイッチを切り換えることなく、人の引く力、押す力に応じてモーターが補助する機能を有していること。
1-7-4	走行スピードは、前進が 4 km/hr、後退が 3km/hr 以下に自動制御できる機能を有していること。
1-7-5	走行ハンドルは、下記の要件を満たすこと。
1-7-5-1	安全上、走行時に上下・左右・斜めに動かない構造になっていること。
1-7-5-2	安全上、走行時にハンドルが本体外寸法より突出しないこと。
1-7-6	手動操作はブレーキ解除ボタン及び駆動輪解除レバーにて操作できること。
2	その他
2-1-1	配膳車は環境に配慮した有害物質使用制限（RoHS）に対応した商品設計がされていること。
2-1-2	上記の仕様はすでに製品化されており、3病院以上の納入した実績があること。
2-1-3	適温配膳車のメーカー保証は 3 年であること。（バッテリー等の消耗部品は除く）
2-1-4	現在使用中のトレーが使用可能なこと。
2-1-5	医療機関で使用することを前提とした製品であること。また、相応の保守体制が整っていること。
2-1-6	設置費、輸送費等諸経費は、商品代に含むこと。